

授業科目 共通技術論Ⅱ	区分・教育内容 専門分野Ⅰ 基礎看護学		
授業担当者 工藤 真弓 (専任教員) 齊藤由美子 (中通総合病院)	開講時期 前期～後期	単位 1 単位	時間数 30 時間
授業の目的 対象理解と看護実践の基礎となる技術を習得する。 授業の目標 1. 感染予防の意義を理解し、感染予防のための技術を習得する。 2. 看護過程の意義とアセスメント・看護診断・計画立案・評価の仕方を理解する。 3. 対象者に合わせた学習支援方法を理解する。			
授業概要 日常の看護活動において、感染予防は安全を守る技術として重要である。感染予防について理解し、演習を通して技術の習得を目指す。この技術はその後の様々な場面で活用するため、しっかりと身につけてほしい。看護過程は、目標に向かって効果的かつ効率よくケアを行うための組織的・系統的な方法であり、問題解決的なプロセスである。ケアの質を高めるためにも重要な技術である。講義で基本的な考え方を理解した後、ペーパーシュミレーションで演習に取り組む。グループワークを通し理解を深め、看護過程用紙に整理していく。また、看護実践能力の一部として、人々の健康にかかわる学習を支援する看護技術について学ぶ。対象者の思いを想像しながら、学習支援するための計画立案、印刷教材の作成をし、実際に指導する演習を通し支援方法の理解を深めていく。 授業計画(進め方) 感染予防 1 回目 講義：感染予防の意義、スタンダードプリコーション、滅菌と消毒の方法 2 回目 講義：手洗いの方法、無菌操作、感染性廃棄物の取扱い 3・4 回目 演習：感染予防のための実技演習 看護過程 5 回目 講義：看護過程の意義、看護過程の構成要素 6 回目 講義：アセスメント・看護診断 7 回目 講義：計画立案・実施・評価の仕方 8～12 回目 演習：看護過程演習 ペーパーシミュレーション (グループワーク) 学習支援 13 回目 講義：学習支援活動の基礎技術 学習支援 14 回目 演習：事例を読み、学習支援するための指導計画を立てる (グループワーク) 15 回目 演習：指導計画と印刷教材の発表会 印刷教材を用いた支援の実際			
テキスト 系統看護学講座 専門Ⅰ 基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ 医学書院 看護がみえる vol.1 基礎看護技術 第1版 メディックメディア 山口瑞穂子・関口恵子監修 疾患別看護過程の展開 学研			
参考書・指定図書 電子辞書 (治療薬マニュアル・臨床検査データブック・症状から見た看護過程の展開) 高木永子監修 看護過程に沿った対症看護学 江口正信編著 検査値早わかりガイド サイオ出版 今日の治療薬 南江堂 系統看護学講座 専門Ⅰ 臨床看護総論 医学書院			
評価の方法 筆記試験及び課題や演習での取りくみ状況を総合的に評価する。 配点：感染予防 25 点 看護過程・学習支援 75 点			

